資料提供年月日	平成2	6年 7 月30日
	課名	消防局 予防課
問い合わせ先	電 話	直通 234-9974
		内線 3772
担当者 職	名・氏名	查察担当課長 松 岡
職	名・氏名	指導係長坂本

広 報 連 絡

- 1 件 名 「おかやま桃太郎まつり 納涼花火大会」において, 消防署員による露店等への防火安全指導を行います
- 2 実施日時・場所等
 - (1) 中消防署管内: 旭川東岸側「河川敷」・「旭川さくらみち」 ア 8月2日(土) 17時00分から(三光荘前集合) イ 中消防署員5名により、約120店舗を対象に実施
 - (2) 北消防署管内: 旭川西岸側「水之手筋」 ア 8月2日(土) 17時30分から(県議会駐車場前集合) イ 北消防署員4名により,約300店舗を対象に実施

3 趣 旨

昨年8月に発生した福知山花火大会での火災事故を受け、岡山市において も、祭りや花火大会など多数の市民が集まる催しにおける防火安全対策の強 化のため、火災予防条例を改正しました。

これにより、本年8月1日から、催しで火気器具等を使用する場合、消火器の設置等が義務付けられます。本条例施行後、初めての大きな催しとなる「おかやま桃太郎まつり 納涼花火大会」において、消防署員が開設される露店等を巡回し、消火器設置の確認及び防火安全対策の徹底を図るとともに、本制度開始の周知を行います。

- 4 添付資料 「露店等開設時のチェックポイント」
- 5 備 考

詳しい内容等につきましては、各消防署予防係にお問合わせください。

- (1) 中消防署 (086) 275-1119
- (2) 北消防署 (086) 226-1119

露 店 等 開 設 時 のチェックポイント

火災予防・安全確保のため、次のことに注意して、安全で楽しい行事にしてください

開設	場所
火気	消火栓や消防用設備の使用の妨げにならない もしもの時に、観客等の避難の障害にならない テントはできるだけ防炎・不燃のものを使用する 消火器の準備(さび・欠陥のないもの)と使用方法の熟知 (火気使用の露店等) 使 用
X	
	火気使用時はその場を離れない、監視を継続する 火気付近は整理整頓し、近くに可燃物を置かない 器具は安定した場所で使用する (不燃材の強固な台の上等) 器具は取扱説明書に基づいて、適切に使用する まき・炭等は、使用後の残火や灰を確実に処理する
液 化	石 油 ガ ス (L P G)
	ボンベは直射日光や火気接近を避ける 倒れないようにチェーン等で固定する ガスに合ったホースを使用し、漏れ・ひび割れがないか点検する ホースは適正な長さとし、バンド等で器具と確実に接続する カセットボンベは、調理鍋により過熱されないよう注意する
	器具
	たこ足配線はせず、許容電流を守る 器具等の荷重が配線に掛からないようにする

□ 器具やコンセントに水が掛からないようにする

□ 照明器具等に可燃物を近づけない

〔裏面へ〕

携带発電機 露店等の営業中に給油の必要がないようにする □ やむを得ない給油や移動時は運転を停止する □ 可燃性ガスが滞留しない場所で使用する □ 観客等が近づかないような措置 危険物 □ ガソリンの特性を十分理解する ア 極めて引火しやすい イ 揮発しやすく、蒸気は空気より重いので滞留しやすい ウ 離れた場所の火、電気器具の火花、静電気でも火災に至る □ 危険物の保管は最小限とする □ 容器は消防法令に適合したものを使用し、適切な場所で保管 (客席との距離を保つ) □ 容器は直射日光の当たる場所や火気付近を避け、温度上昇を防ぐ □ 容器のふたを開ける際、必ず圧力弁により減圧する □ 玩具用花火を扱う露店は、たばこ等の火が着火しないよう、蓋や覆 いの措置をする □ 暖房器具にあっても上記同様の防火安全対策を行う 放火対策

- □ 長時間無人となる時は、ボンベ・燃料を置いたままにしない
- □ 定期的な巡回や監視を行う

その他

- □ 喫煙管理を徹底する
- □ 万が一、火災等を発生させた場合は、ただちに119番へ通報する

《お願い》

無事故で楽しい催し・イベントにするために、以上のことに十分注意していただくよう、ご理解・ご協力をお願いします。

火事・救急は「119」へ



□岡山市消防局(予防課) Tm.086-234-9975 □岡山市中消防署 Tm.086-275-1119 □岡山市北消防署 Tm.086-226-1119 □岡山市東消防署 Tm.086-942-9119 □岡山市西消防署 Tm.086-262-0119